



水谷公民館だより

mizutani

編集 水谷公民館だより編集委員会
発行 富士見市立水谷公民館 / 住所 富士見市水谷 1-13-6
TEL 049-251-1129 / FAX 049-255-9886

もくじ

<1面>

・特集 わが家の年末年始の過ごし方

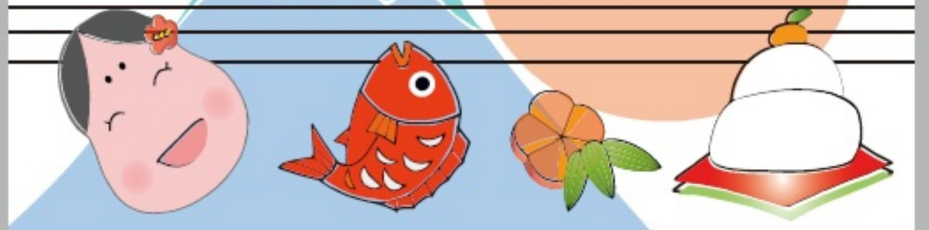
<2面>

・水谷公民館からのお知らせ

・こんにちはコーナー

わが家の

年末年始の過ごし方



暑すぎる夏に閉口し、日本には四季がなくなってしまうのではと危ぶみましたが、10月になると日が短くなり空が高くなり秋は来てくれました。そうこうしているとやがて年末、今年も残り少なくなってきました。

皆さんはどのような年末年始を予定されていますか？

家族でいっぱいのお土産を持って故郷へと飛行機や新幹線、渋滞の高速道路を往復した昭和平成の時代は遠くなりました。今は働き方も多様でお休みの取り方も様々。年末年始だからと長いお休みがある方ばかりではありません。

それぞれ年末年始の過ごし方や思い出など、少し前を懐かしんで振り返ってみていただきます。

編集委員

大槻節子

伝わってます

私の得意料理

秋山 慶子



昭和29年生まれ、兄が3人4番目に生まれ長女です。兄たちとお正月は実家に集まり、昔ながらのおせち料理を囲んだ正月を過ごしていました。結婚した年の正月は夫の実家に行くものだと思っていましたが、商売をしていた夫の両親は年末年始は旅行していましたので、ずっと私の実家に帰っていました。

両親が高齢になり、40代半ばになって我が家だけで正月を迎えることになり、おせち料理は今風のものになりました。やがて2人の息子も結婚して親となり、年末年始の氷川神社のお神楽や大應寺での年始の護摩だきなど賑やかな年末年始となりました。

その後、長男家族が転勤。孫が大アレルギーになり、我が家に集まることができなくなりました。のちに転勤から戻った千葉の長男の家に集まり、お正月を迎えていましたが私が3年ほど前から体を壊してしまい、県内の次男のところ家族9人でのお正月を迎えています。もちろん家がかわれば、お料理も変わりましたが、私の得意料理の「牛のたたき」と「蟹缶とクリームチーズのテリーヌ」だけは、ちゃんと伝わっています。

農家のお正月

楽しいことが目白押し



萩元 不二夫

子どもの頃、冬休みはクリスマスがあつて大みそかがあつて、お正月がある。楽しいことが目白押しのもとも素敵なものでした。

特に年末の餅つきは特別な行事です。朝起きると早くから準備された臼と杵。せいろの中で蒸されたもち米が、すでに湯気という香りをたてています。たくさんのお餅をつきますから親戚と共同で作業しました。

つきたての餅を大根おろしのからみ餅とあんこ餅で食べるのは一年に一度だけのごちそうです。子どもたちも集まって、みんなで競いあうようにお腹いっぱい食べました。

今では機械で餅をつきますから、特別感は薄れましたが続けられています。子どもたちも楽しそうに、ほおばっています。

お正月にはお年玉をもらって、それを握りしめておもちゃ店に急ぐ姿は、今も昔も変わらない光景です。

恒例行事は

「おしるこパーティ」

門脇 隆



盆休みや年末年始の一般的な過ごし方は、故郷に帰省するということでしょう。

ところが私は、実家が地元のため、故郷に帰省するという経験を一度もしたことがありません。年末は自宅でゆっくりが常でしたが、自宅での行事がありました。

私が中学2年生だった年末の30日。母に誘いなさいと言われて集まった友達に手作りのおしるこをふるまいました。

母が親心で始めたと思いますが、この味が好評でリクエストに答えているうちに、『おしるこパーティ』として毎年の恒例行事となりました。

母はもう鬼籍に入りましたが今は妻がその味を引き継いで、振り返れば50年以上この会は続いています。

母のおかげもあり友人関係は長く続き、同級生の星野市長もおしるこを楽しみに毎年我が家のパーティに参加しています。

40年間全力投球

今は穏やかなお正月

磯 嬉子



我が家は、父が昭和21年に池袋の立教大学の近くで日本そば屋を始めました。私が6歳の時でしたが、店の雰囲気は今でも思い出します。

それから中板橋、練馬と店の場所は変わりましたが四力所目の場所となる、みずほ台で昭和56年に店を開きました。

開店当初は、みずほ台駅が開業して4年が経った頃で、まだまだ駅の周りは家もビルもまばらでした。徐々に個人のお客様も増えていきましたが、地元の会社の方など団体のお客様に二階を宴会場として利用していただくことが多かったです。一階で調理した料理を階段で二階へ運びます。階段を何往復もして本当に目が回る忙しさでした。そば屋ですが、大みそかは営業しないで人並みにのんびりさせてもらいました。

40年間全力投球で頑張ってきましたが、昨年閉店しました。今までの疲れがあちこちと痛みだし、医者通いの日々ですが、今は穏やかな生活を送ることができ、感謝感謝です。